短期大学教育の再構築を目指して
― 新時代の短期大学の役割と機能 ―

平成21年1月16日　日本私立短期大学協会

21世紀の世界は知識基盤社会

我が国の高等教育
- 国際通用性と国際競争
- ラーニングアウトカムの重視へ
- 学位プログラムによる整理へ
- 少子化時代の在り方検討へ　etc.

欧米の高等教育
- ラーニングアウトカムの重視
- 学位の国際通用性
- 短期高等教育の役割重視　etc.

短期大学教育再構築の必要性

国

特に取組むべき施策
- 短期大学教育の方向性の提示
- 制度的枠組みの修正と整備
  設置基準の修正、非学位課程の公認
- 財政支援の充実
  特に基盤的経費補助、地方短大支援
- 短期大学の制度・教育論議の先導

指導・財政支援

指導
支援

支援

短期大学団体
- 教育研究の質向上支援
  調査研究
  学習成果目標設定
  コアプログラム策定等
- 教職員の能力開発支援
  FD／SDの開発実施
- 短期大学振興業務

支援
運営
協働

新時代の短期大学

役割
- 高等教育の機会均等
- 教養教育・職業教育
- 地域の生涯学習の拠点　etc.

機能
- 「21世紀型市民」の教育
- 職業能力の育成
- 学士の学位等への接続教育
- 地域の人材ニーズに対応　etc.

短期大学士課程
- 短期大学教育の中核
- 短期高等教育で唯一の学位課程
- 育成する人材像は
  - ・創造性と倫理性を備えた勤勉な社会人
  - ・人材立国を支える中堅実務者
- 教養教育と専門教育のバランス
- 多様な職業教育、接続教育
- きめ細かな少人数教育
- 「三つの方針」、質保証の課題

専攻科
- １年以上の柔軟な卒後課程
- 精深な程度の教授、研究指導
- 深い学びへのニーズに応える課程
- 学士の学位取得に導く課程
- 特定の資格取得に導く課程

＋

新たな教育プログラムの開発
2+1　2+2　3+1　etc.

＋

非学位課程
- 地域の生涯学習拠点として
- 学位・卒業を目指さない学び
- ３ヶ月～２年、多様な学習期間
- 「スキルアップ・プログラム」
- 「雇用対策プログラム」
- 高齢者・主婦等非就業者の学習
- 特定企業・団体の注文教育
- 教員・実務者・市民、多彩な講師
- 履修証明制度の活用

地域
（住民、市民団体
企業、経済団体）

- 高い地元からの進学率
- 高い地元への就職率
- 教育プログラム開発支援
- 人・物のリソース提供
- 学習機会提供

指導・財政支援

財政支援　提案

地方公共団体
教育振興基本計画の策定
“地域も高等教育の受益者”

- 地域の人材育成計画
- 教育プログラム提供
- 人・物のリソース提供
- 財政支援
  （直接補助・間接補助）

短期大学教育再構築の必要性

時代の変化　少子化　大学の総定員増加　女子の高学歴化 etc.

短期大学の不振　定員割れ　大学への転換　学力低下　経営不振

短期大学の60年

身近な大学（全国の中小都市にも）　高い地元入学率　高い地元就職率　教育の重視
女子の教育水準の向上・社会進出に顕著な貢献　専門就職・一般就職ともに高い就職率